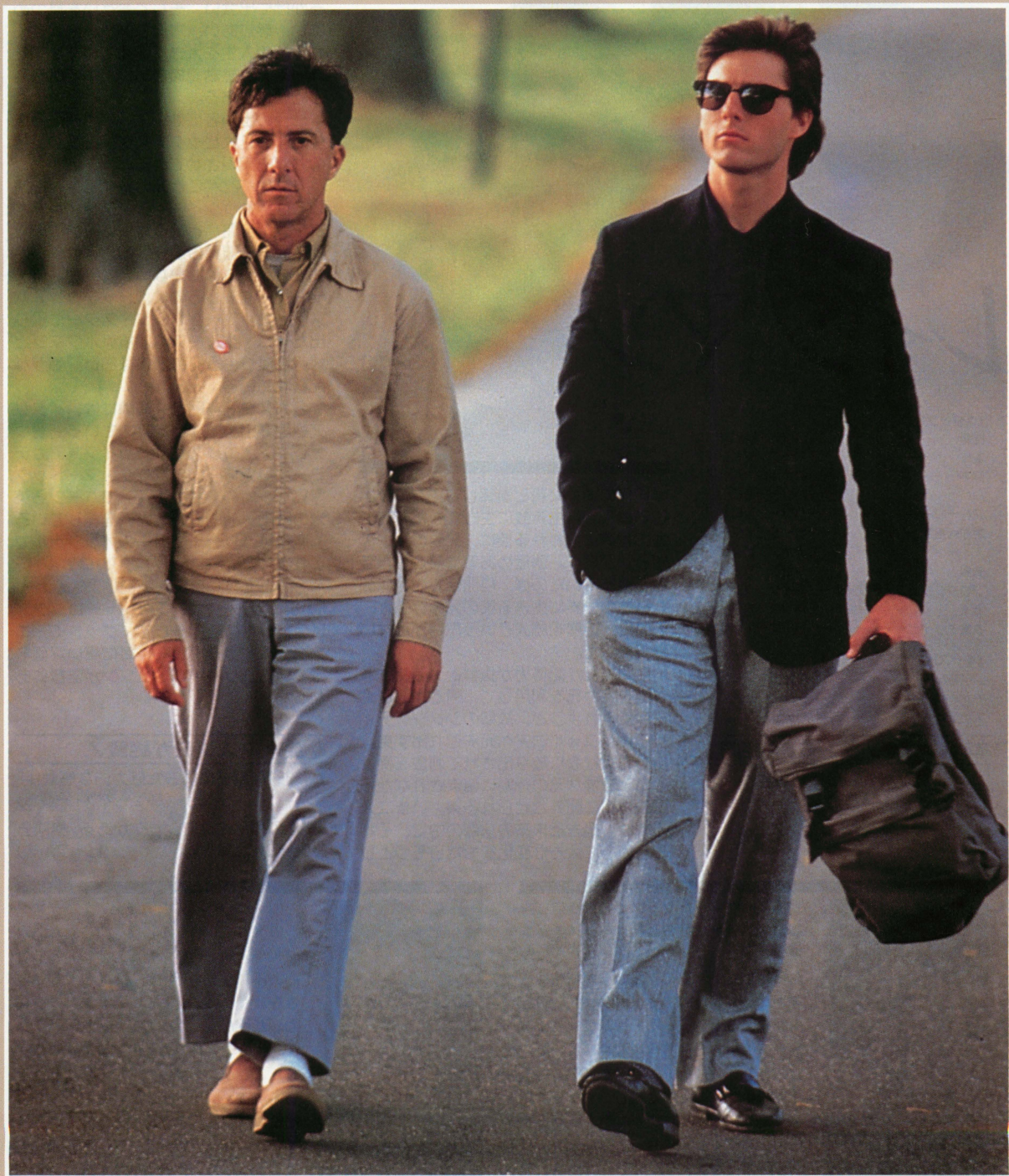


ダスティン・ホフマン

トム・クルーズ

'89アカデミー賞最有力候補作品!!



バリー・レビンソン監督作品

レインマン

ダスティン・ホフマン トム・クルーズ 脚本・ロナルド・バス 監督・バリー・レビンソン 製作・マーク・ジョンソン 製作総指揮・ピーター・ガーバー、ジョン・ビーターズ RAIN MAN ユナイテッド UA UIP 配給

©1988 UNITED ARTISTS PICTURES, INC. ALL RIGHTS RESERVED



レインマン

〈スタッフ〉

監督……………バリー・レビンソン
 製作……………マーク・ジョンソン
 脚本……………ロナルド・バース
 //……………バリー・モロー
 ストーリー……………バリー・モロー
 製作総指揮……………ピーター・グーバー
 //……………ジョン・ピーターズ
 撮影……………ジョン・シール
 プロダクション・デザイナー……………アイダ・ランドム
 音楽……………ハンス・ジマー
 衣装デザイナー……………バーニー・ボラック

〈キャスト〉

レイモンド……………ダスティン・ホフマン
 チャーリー……………トム・クルーズ
 スザンナ……………ヴァレリア・ゴリノ

本年度ゴールデン・グローブ賞4部門ノミネート

作品賞／監督賞／脚本賞
 主演男優賞(ダスティン・ホフマン)

原作邦訳：早川書房刊／サントラ盤：東芝EMI

ユナイテッド映画
 UIP配給
 RAIN MAN

10代の頃、父親と衝突して家を飛び出して以来、自由奔放に生きてきた若者。金の返済に追われる彼に、父親の死亡の知らせが届く。遺産めあてに帰郷した若者を待っていたのは、自閉症で40数年間も孤独の世界に生きる実の兄の存在と、その兄が遺産相続人という思いがけない事実だった。

自閉症だが記憶力が抜群という特殊な才能を持つ兄を利用して、何とか遺産金を手に入れようと、故郷のシンシナティからカリフォルニアへ兄を連れ出す弟。初めて実社会に放り出されて刺激を受ける兄。奇妙な兄の行動に悩まされながら、兄の世話に翻弄させられる弟。いま二人の旅は、過去と未来の狭間の中で、それぞれの心に大きな変化をもたらそうとし

ていた……。

他人同然のように、全く異なる人生を歩み続けてきた兄と弟が、父親の死をきっかけに出会い、そしてお互いを見つめあい、感じあい、意識しあい、やがてそれぞれの人生を大きく変えていくまでを、ユーモアと感動で描きあげた本年度最高の話題作である。

注目の出演者には、アメリカ映画界を代表する2大ビッグ・スターを配し、初の共演を実現させている。

「レインマン」こと兄のレイモンドを演じるは、「トッツイー」のダスティン・ホフマン。自閉症という難しい役柄に取り組み、その迫真の演技は観る者に深い感銘を与えずにはおかない。対象的な弟チャーリーを演じるのは、「トップガン」「ハスラー2」で一躍トップ・スターに躍り出たトム・クルーズ。演技派ホフマンと対等に渡り合うその演技は高い評価が与えられている。

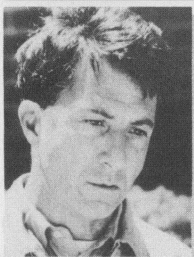
2大スターを囲む共演陣には、イタリア映画界出身で注目を集めている新鋭ヴァレリア・ゴリノ、「ドライブ・アカデミー全員免停」のジャック・マードック、「ハンター」のマイケル・D・ロバーツら英米の映画・演劇界の実力派を配している。

原作はバリー・モローのオリジナルで、これを「友よ風に抱かれて」のロナルド・バースとモロー自身が脚色し、「ダイナー」「ナチュラル」「ヤング・シャーロック／ピラミッドの謎」そして「グッドモーニング・ベトナム」と一作毎に高い評価を得ているバリー・レビンソンが監督にあたった。

★全米マスコミが絶賛！

★“知的な驚きに満ちた魅力的な感動作”
 (ニューズウィーク誌)

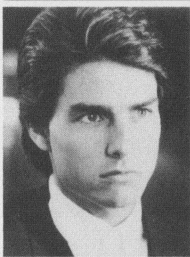
★“この作品にはマジックがある。素晴らしい笑い感動”
 (ピープル誌)



(レイモンド)
**ダスティン
 ホフマン**

都会的な洒落たセンスと軽妙な持ち味で幅広い役柄に挑戦し続けるダスティン・ホフマンは「レインマン」で新たな境地を開拓した。まさに天才的な頭脳を持ちながら、外界とのコミュニケーションに不自由を覚えるというレイモンド役は彼のキャリアの中でも最も複雑な役柄だった。

もともと彼はピアニストを目指していたが途中で演劇志望に転じ、アクターズ・スタジオに学んだ。様々な職を転々とする頃、舞台で認められるようになって、やがて67年「卒業」でデビューを飾る。79年には「クレイマー、クレイマー」でアカデミー主演男優賞を獲得し、おもしろさめトップスターの座に名を連ねることになった。



(チャーリー)
**トム
 クルーズ**

「トップガン」で人気爆発、ヤングスターの実力ナンバー1にランクされたトム・クルーズは、新作「レインマン」でも野心あふれる若者を演じ、みずみずしい輝きを放っている。もともとレスリングを志した彼だったがケガで断念し、ハイスクールのミュージカルの役に抜きされたことが彼を俳優への道に進ませたといえよう。81年「エンドレス・ラブ」の端役についたことから、83年「アウトサイダー」「卒業白書」とスターへの道を歩むことになる。その後はリドリ・スコットやトニー・スコット、マーチン・スコセッシと大物監督の作品にたてつけに主演し、彼のトップスターとしての地位はゆるぎないものになった。